

仕様

|             |   |                             |
|-------------|---|-----------------------------|
| 品名          | 名 | 電解洗浄水生成器                    |
| 名称          | 称 | オンディーヌ                      |
| 型番          | 番 | JC-500EX                    |
| 外形寸法        | 法 | 高さ403mm×幅259mm×奥行き276mm     |
| 本体重量        | 量 | 約3.3kg                      |
| 定格圧、周波数     |   | AC100V 50/60Hz              |
| 定格電流        |   | 3A                          |
| 使用周囲温度      |   | 10～40℃（凍結不可）                |
| 使用相対湿度      |   | 0～85%RH                     |
| 給水水質        |   | 上水道水使用を原則とする（飲用に適した井戸水は使用可） |
| 給水水温        |   | 0℃～30℃                      |
| 電解方法        |   | バッチ式隔膜電解方式                  |
| 電解時間（電解洗浄液） |   | 約4時間                        |
| 電解時間（強電解水）  |   | 約5分（可変式）                    |
| 電解洗浄        |   | 使用毎の極性反転、クエン酸洗浄             |
| 処理水量        |   | 4ℓ                          |

※仕様、外観等は製品改善のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

アフターサービスについて

保証書：この製品には保証書が添付されています。  
「お買上げ店の捺印、購入年月日」などの記入及び記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。  
所定事項が記入されていない場合や紛失された場合は保証期間内でも保証が無効となる場合があります。  
保証期間：この製品お買上げの日から1年間です。正常な使用状態でこの期間内に万一故障を生じた場合は、保証書に記載されている内容に基づき、修理いたします。  
保証期間経過後の修理：  
お買上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。この製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。  
※補修用性能部品とは、この製品の機能を維持するために必要な部品です。

この取扱説明書は保証書と共に大切に保管してください。万一ご使用中にわからないことや不具合が生じたときにお役に立ちます。

■お問い合わせ、お申し込みは

■総発売元



株式会社 ジェイ・シー・エス・インターナショナル  
〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-20-17  
お客様相談室 ☎フリーダイヤル 0120-112-160

AON-00006



取扱説明書

この度は当社製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本製品をご使用になる上で大切なことが記載されておりますので、ご使用前に必ずお読みの上、正しくお使いください。

目次

安全上のご注意……………1・2

本体各部の名称……………3

表示パネル各部の名称と働き……………3

付属品……………4

電解洗浄水の作り方

・重曹水の作り方……………5

・重曹水の入れ方……………6

・電解洗浄水の生成……………6

・電解洗浄水の保存……………7

洗濯での使い方……………8

その他の使用用途……………9

pH測定液での点検方法……………9

強電解水の作り方

・精製塩水の作り方……………10

・精製塩水の入れ方……………11

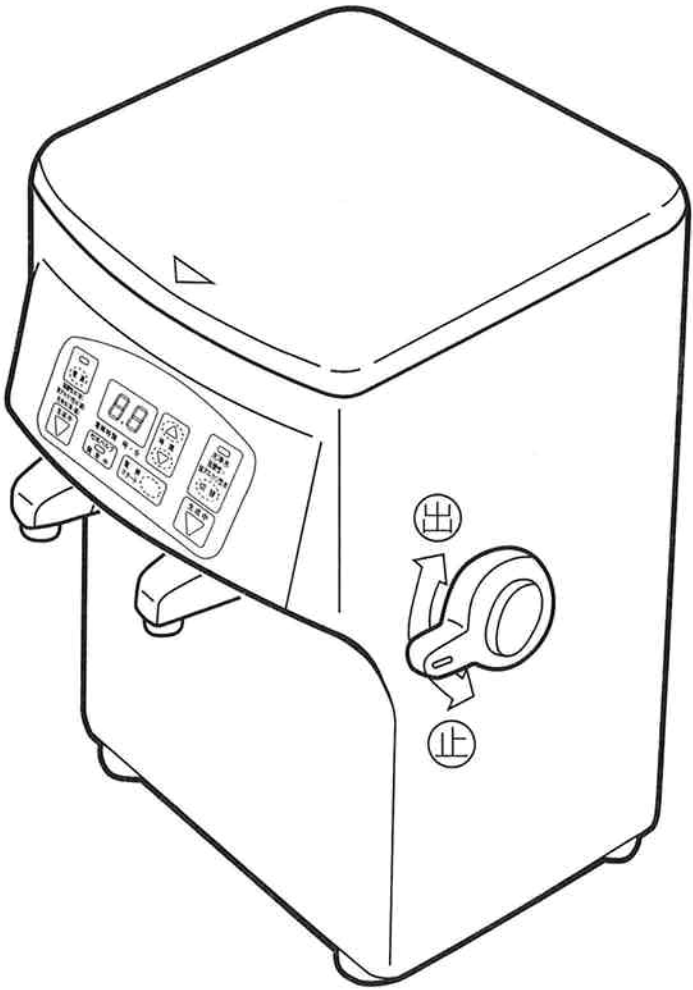
・強電解水の生成……………11

・強電解水の保存……………12

お手入れのしかた……………13

故障かなと思ったら……………14

仕様・アフターサービスについて……………15



- 本製品は飲料用ではありません。
- 本製品は医療用具ではありません。
- 本製品は家庭用ですので業務用には使用しないでください。
- 生成された電解水を洗剤、薬品などと混ぜて使用しないでください。
- 正しい使用をされなかった場合の製品の故障および事故について、当社は一切責任を負いませんのでご了承ください。

# 安全上のご注意 (このページは必ずお読みください)

表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。その表示や意味を理解してから本文をお読みください。



## 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



## 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



## 警告

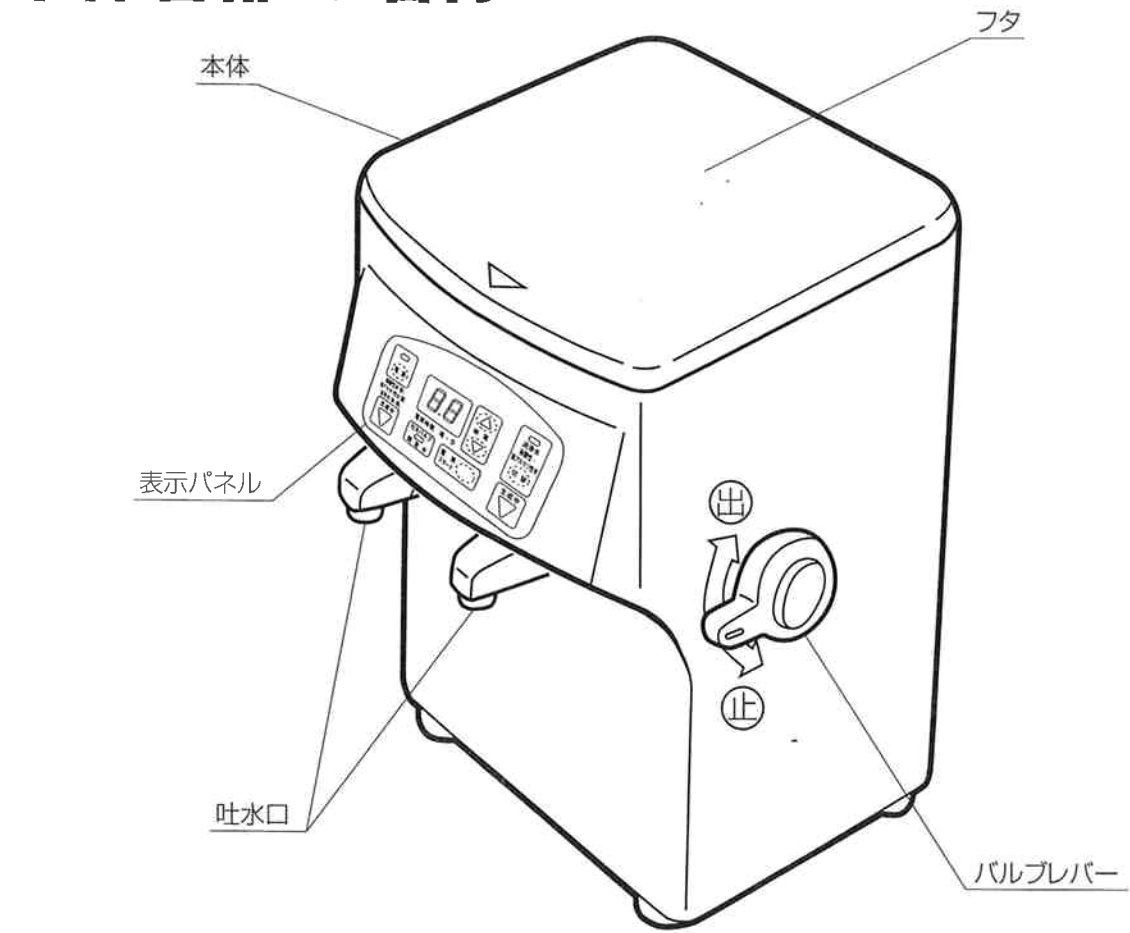
- \* 表示された電源電圧 (交流100V) 以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- \* 本器は国内でご使用ください。船舶などの直流 (DC) 電源には接続しないでください。火災の原因となることがあります。
- \* 濡れた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。感電の原因になることがあります。
- \* 電源コードが折り曲がったり傷ついたりしないようにしてください。電源コードが破損し火災、感電の原因となります。
- \* タコ足配線はおやめください。発熱し火災の原因となります。
- \* 電源コードが傷んだまま使用したり、ガタついているコンセントでは使用しないでください。火災、感電の原因となります。
- \* 本体を誤って水中に落としたときは、  
1) 電源プラグをコンセントから抜き、 2) 本体を引き上げ、 3) 販売店に修理を依頼してください。
- \* 本器の分解、改造は絶対にしないでください。火災、感電の原因になります。その結果生じた事故については一切責任を負いません。
- \* 浴室やシャワールームでの使用は絶対にしないでください。
- \* 生成された水は外用水ですので、絶対に飲用並びに食品添加物として使用しないでください。万が一飲んでしまった場合には飲料水を飲ませ、医師に相談してください。
- \* 風通しの良い所で使用してください。



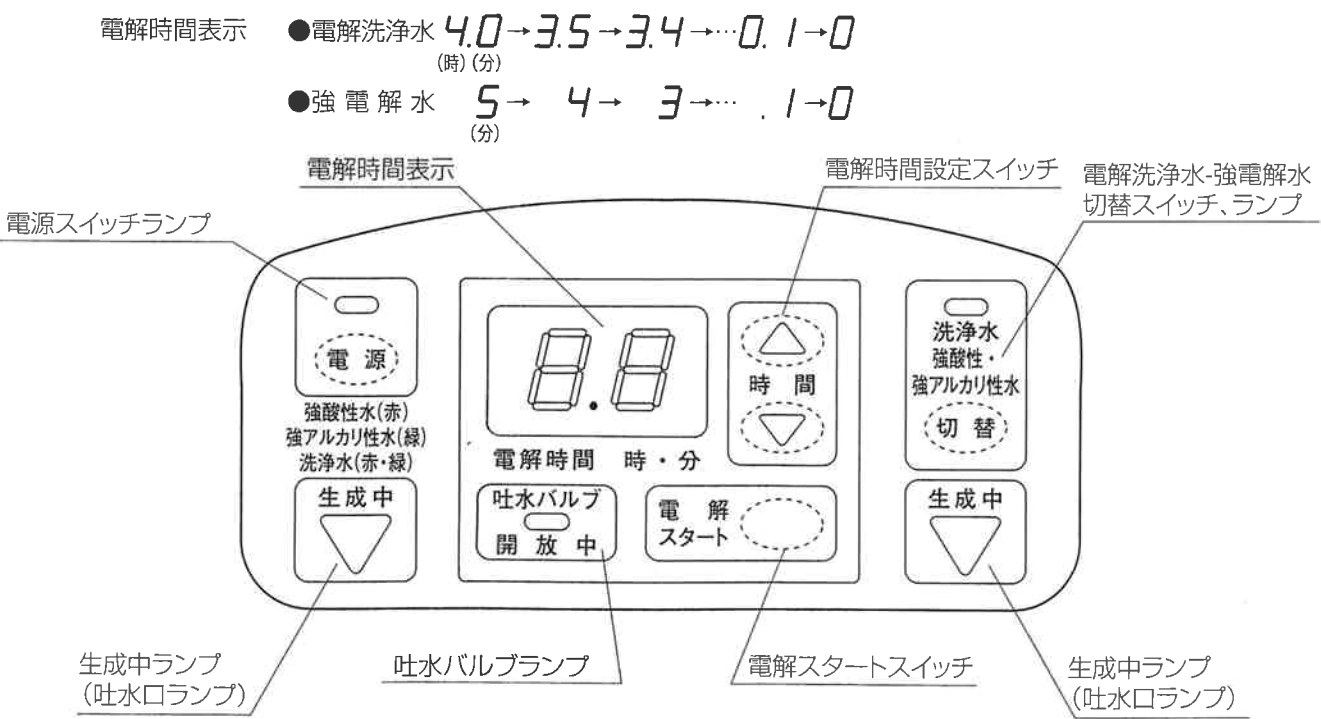
## 注意

- \* 本器に使用する水は水道水を基準としています。不適な水を使用すると、故障の原因となることがあります。次のような水は使用しないでください。  
井戸水、濁りのひどい水、硬度の高い水、塩分の多い水、赤さびの多い水、汲み置きの水、その他水道基準以外の不適な水。(飲用に適した井戸水は使用可)
- \* 生成された水が目に入った場合は、こすらずに飲料水でよく洗い、応急処置をし、医師に相談してください。
- \* 次のような場所には設置しないでください。故障の原因となることがあります。火気を使用しているところ、直射日光が当たるところ、凍結の恐れがあるところ、湿気やほこりの多いところ、水のかかるところ、腐食性ガスの発生するところ。
- \* 本体が水平な位置になるように設置してください。グラついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所には設置しないでください。落ちたり、倒れたりする原因になることがあります。
- \* 電解中は電源コードを抜いたり電源スイッチをオフにしたりしないでください。万が一、停電もしくはあやまって電源が切られた場合は槽内の水を全て取り出し、最初からやり直してください。
- \* 40℃以上の温水は使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- \* 吐水口を塞がないでください。故障の原因となることがあります。
- \* 吐水口をホースなどで延長しないでください。故障の原因となることがあります。
- \* 本器の上に物を置かないでください。故障または事故の原因となることがあります。
- \* 本器を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- \* 本器に水をかけないでください。故障の原因となることがあります。
- \* 電源プラグをコンセントから抜き差しする場合は、必ずプラグを持って行ってください。コードを引っ張るとコードが傷み火災、感電の原因となることがあります。
- \* 故障した場合には、必ず販売店に修理を依頼してください。ご自身での修理は絶対にしないでください。
- \* お子様の手の届かないところでご使用ください。
- \* 寒冷地でご使用の場合は、本体内が凍結しないように水を抜き取り、室温でご使用ください。
- \* 急に寒い場所から暖かい場所に移動しないでください。本体内で結露が発生し、故障の原因となります。
- \* 金魚や熱帯魚など魚類の飼育水として使用しないでください。環境が変わり死ぬことがあります。
- \* アルカリに弱いアルミ製容器や酸に弱い銅製容器などはバケツ、カップ、保存容器として使用しないでください。

# 本体各部の名称



# 表示パネル各部の名称と働き



# 付属品

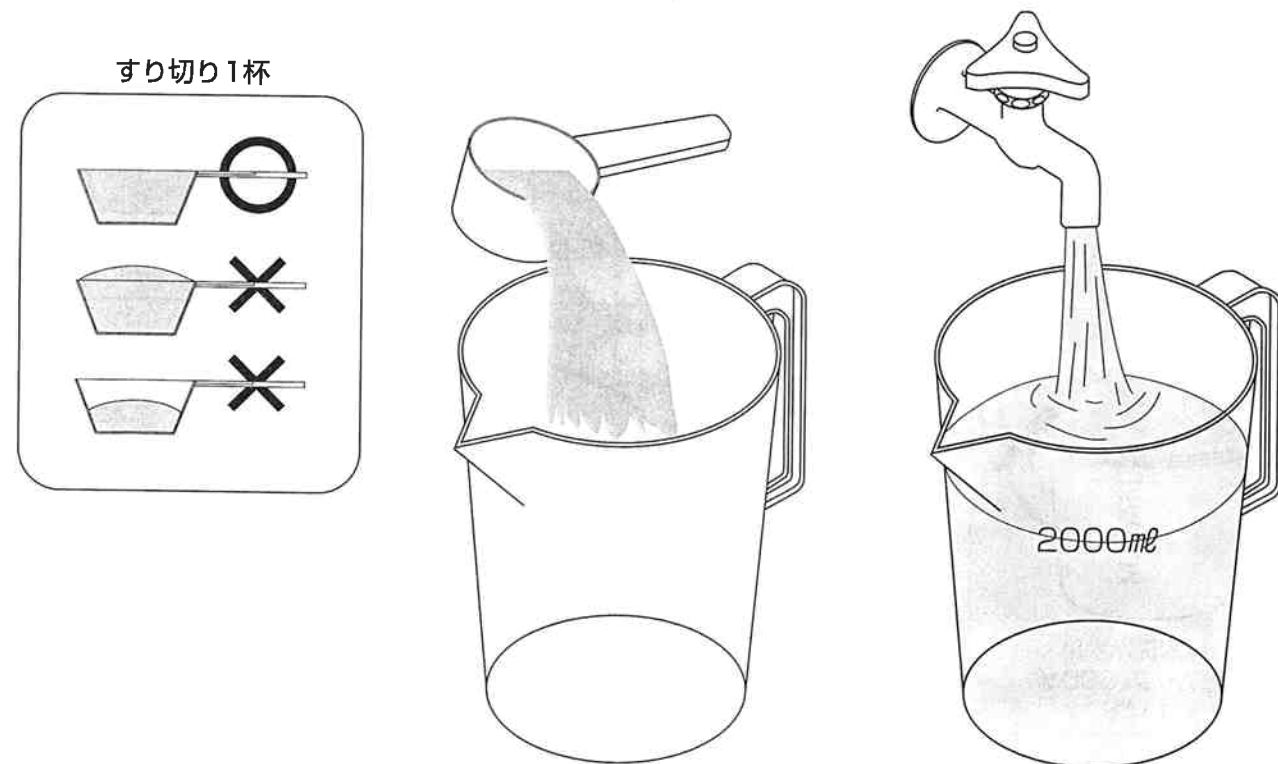
|                                         |                                          |                                         |                                     |
|-----------------------------------------|------------------------------------------|-----------------------------------------|-------------------------------------|
| <p>計量カップ(2ℓ)<br/>(ピンク・グリーン各1個)</p>      | <p>電解洗浄水保存容器(2ℓ)<br/>(2本)</p>            | <p>電解洗浄水<br/>取出し用バケツ(6.5ℓ)<br/>(1個)</p> | <p>電解洗浄水用スプレー<br/>(500ml) (1個)</p>  |
| <p>電解洗浄水用<br/>計量カップ(500ml)<br/>(1個)</p> | <p>専用重曹用計量スプーン<br/>(1/2カップ)<br/>(1個)</p> | <p>pH測定液セット(比色表付)<br/>(1式)</p>          | <p>専用重曹/専用重曹保存容器<br/>(3kg) (1個)</p> |
| <p>強電解補助剤(120g)<br/>(1袋)</p>            | <p>強電解水保存容器<br/>(強酸性・強アルカリ性水各1個)</p>     | <p>ロート<br/>(1個)</p>                     | <p>強酸性水用スプレー(400ml)<br/>(1個)</p>    |
| <p>本体内洗浄剤(22g)<br/>(1袋)</p>             | <p>攪拌棒<br/>(精製塩計量スプーン2g)<br/>(1本)</p>    | <p>ご利用マニュアル</p>                         | <p>操作マニュアル</p>                      |

# 電解洗浄水の作り方

## 重曹水の作り方

- 1 付属の計量カップ(2ℓ)に専用重曹を入れ水を加えて重曹水を作ります。

- 専用重曹を計量スプーンすりきり1杯入れてください。
- 水(水道水、飲用に適した井戸水)を容器の目盛り2000mlまで入れてください。



- 2000mlの重曹水を2カップ用意します。

**!** 注意 1カップ2000ml以上の重曹水を入れないでください。  
本体からあふれ出る恐れがあります。

- 2 攪拌棒でよくかき混ぜます。

- 専用重曹は多く入れすぎないようにしてください。
- 専用重曹が溶けて無くなるまでかき混ぜてください。
- お湯(40℃弱)だと早く溶けます。(水温が低いと溶けにくい場合があります。)

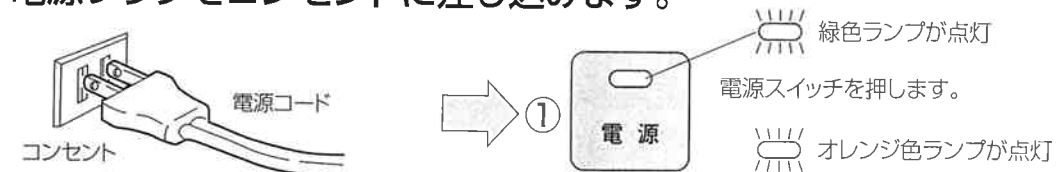
**!** 注意

※40℃以上のお湯は使用しないでください。故障の原因となることがあります。



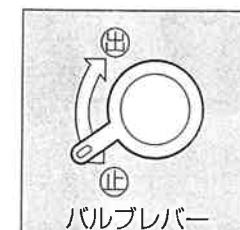
## 重曹水の入れ方

- 1 電源プラグをコンセントに差し込みます。

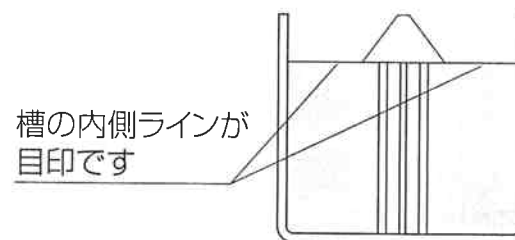


- 2 バルブレバーを「止」の位置にしてください。

※バルブレバーが「出」の位置での場合、吐水バルブ開放中のランプが点灯及び電子ブザーでお知らせします。

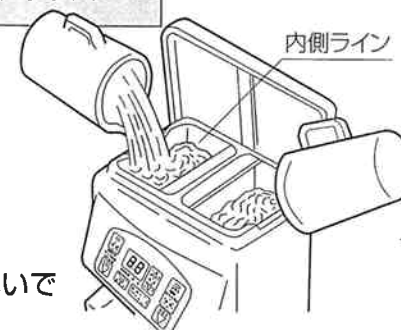


- 3 本体のフタを開けて、準備した重曹水を左右の槽の水位が同じになるようにいれます。



**!** 注意

※電解中はフタを開けないでください。  
※電解中は換気を充分行ってください。



- 4 フタを閉めます。

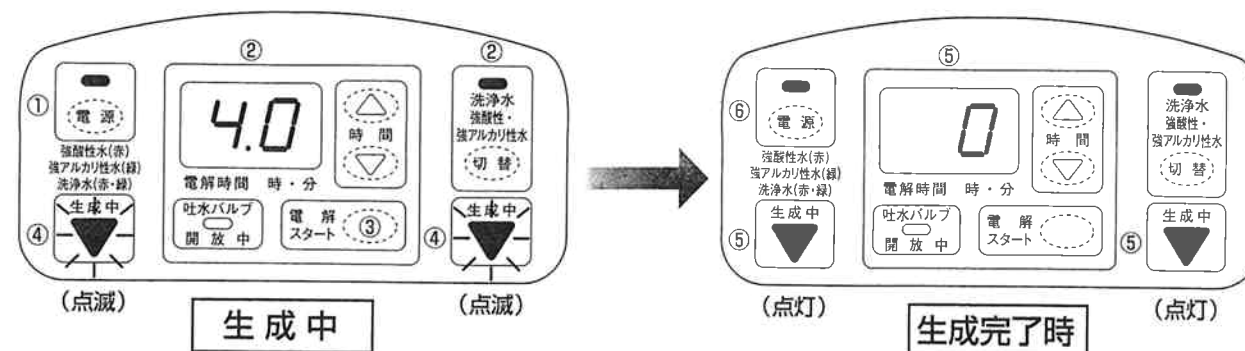
## 電解洗浄水の生成

- 1 洗浄水ランプ点灯及び電解時間4.0表示確認後、電解スタートスイッチを押します。②③

本体の生成中ランプが点滅し電解洗浄水の生成が始まります。④

※電解中は電源プラグを抜かないでください。また停電等で電源が切れた場合はいったん槽内の重曹水を全て吐出し最初からやり直してください。  
※電解中に誤ってバルブレバーを動かすと電解が強制終了してしまいます。その場合は全て吐出し、重曹水を作り直し最初からやり直してください。

- 2 生成が完了しますと電解時間表示が0になり生成中ランプが点滅から点灯に変わり電子ブザーでお知らせします。(ピー) ⑤ 生成時間:約4時間



## 電解洗浄水の保存

- 1 電解が完了したら電解洗浄水取出し用バケツを吐水口の下に置きバルブレバーを「出」の位置にし吐出してください。電子ブザーと共に吐水バルブ開放中のランプが点灯します。

※電解洗浄水はすぐに本体から全て抜き取ってください。本体の性能低下の原因となる場合があります。

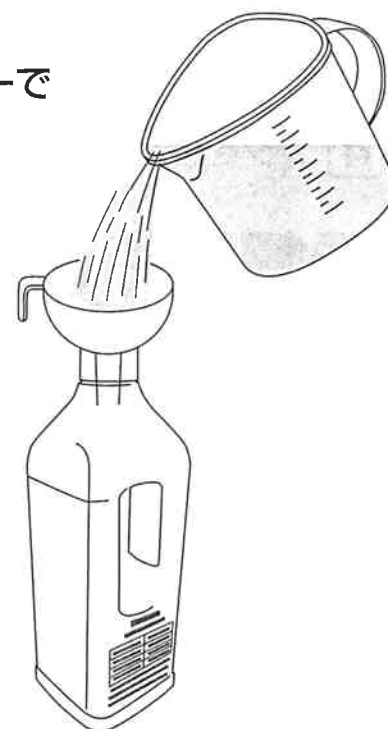
- ！ 注意** 電解することより、電解洗浄水の温度が高くなる場合がありますので注意してください。  
約30℃の設定温度以上になると冷却ファンが動作し、電解洗浄水を冷却します。



- 2 完全に電解洗浄水の吐出が完了しましたら電子ブザーでお知らせします。(ピー・ピー・ピー…)バルブレバーを「止」の位置に戻してください。吐水バルブ開放中のランプが消灯します。

- 3 付属の電解洗浄水保存容器に電解洗浄水用計量カップ及びロートを使って移し替えてください。

※飲み物の空容器には絶対に保存しないでください。電解洗浄水を誤って飲んでしまう恐れがあります。  
※吐水口より残留水が出てきます。計量カップ(2ℓ)で受けてください。



- 4 吐出が完了しますと電源が自動的に切れます。しばらくご使用にならない時は電源プラグをコンセントから抜いてください。(P6-⑥)



## 洗濯での使い方

電解洗浄水の使用量の目安は下記の表を参考にしてください。

洗濯槽の使用水量(ℓ)と電解洗浄水の量(ml)の目安

| 使用水量<br>(ℓ)      | 電解洗浄液の量(ml) |       |
|------------------|-------------|-------|
|                  | 普通の汚れ       | ひどい汚れ |
| 20               | 400         | 600   |
| 30               | 600         | 900   |
| 40               | 800         | 1,200 |
| 50               | 1,000       | 1,500 |
| 60               | 1,200       | 1,800 |
| 70               | 1,400       | 2,100 |
| 80               | 1,600       | 2,400 |
| 希釈倍数<br>(うすめる倍率) | 50倍         | 30倍   |

※普通の汚れ:毎日取り替える下着類、ワイシャツやシーツ等 ※ひどい汚れ:油汚れの作業着等

- 洗濯機の洗濯時間を、12分以上に設定してください。
- 汚れに応じて洗濯時間と希釈倍数を調整してください。
- 電解洗浄水の特徴のひとつはすすぎが簡単であることです。すすぎは1回が目安ですが、汚れに応じて回数を増やしてください。

### ！ 注意

- 色落ちについて  
色落ちの恐れのあるものは別洗いしてください。
- 「再汚染」について  
「再汚染」とは、洗濯物から出た汚れの成分が再び付着することです。  
「再汚染」を防ぐために、汚れのひどいものと汚れていないものをいっしょに洗ったり、汚れた電解洗浄水を使うことは避けてください。
- 酸素系漂白剤や酸性洗剤との併用はおやめください。また中性洗剤指定の繊維(ウール絹等)には、使用できません。酸素系漂白剤は、すすぎのときご使用ください。

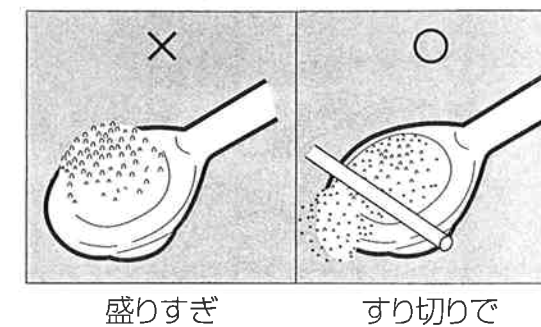
# 強電解水の作り方

## 精製塩水の作り方

**1** 付属の計量カップ(2ℓ)に水(水道水、飲用に適した井戸水)を入れ精製塩を加えて精製塩水を作ります。

- 水(水道水、飲用に適した井戸水)を容器の目盛2000mlまで入れて下さい。
- 精製塩を計量スプーンすりきり1杯入れてください。

攪拌棒(精製塩計量スプーン)



**! 注意**

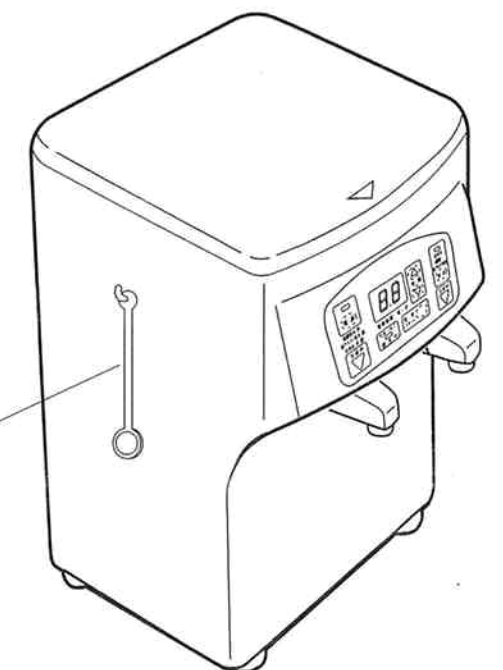
注：精製塩を使用してください。  
(粗塩、調味料入りの食塩等を使用した場合、性能の確保はできません。)  
注：計量カップ(2ℓ)1カップにつき、精製塩を計量スプーン1杯(2g)です。

- 2000mlの精製塩水を2カップ用意します。

**2** 攪拌棒でよくかき混ぜます



☆攪拌棒は使用后、よく水を切り本体左側のフックにかけておく と便利です。



## その他の使用用途

- |                        |           |
|------------------------|-----------|
| 1. 食器類                 | 7. ペット    |
| 2. キッチン                | 8. 歯みがき   |
| 3. 浴室・浴槽・洗面台・便器・ガラス・鏡等 | 9. 入れ歯    |
| 4. 洗車                  | 10. 入浴    |
| 5. ジュータンのシミ汚れ          | 11. 身体・洗顔 |
| 6. 野菜・果物・お米            | 12. 洗髪    |

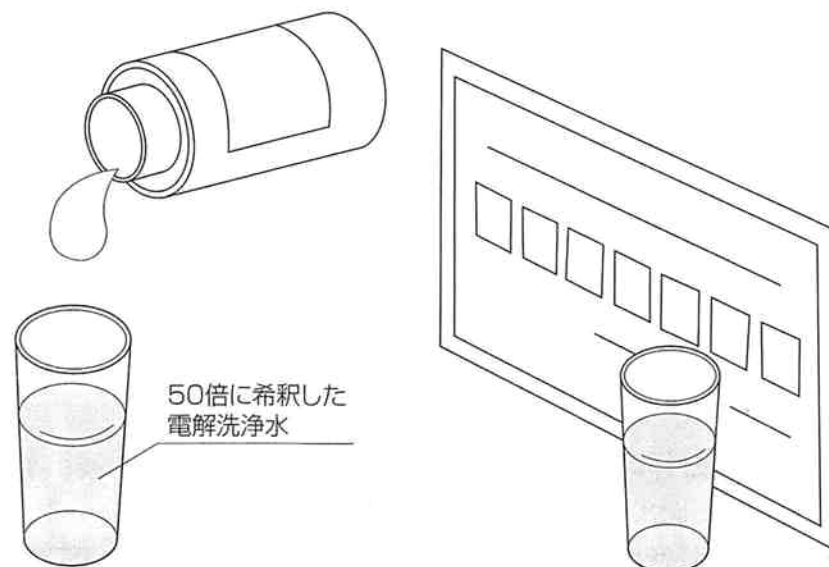
**! 注意**

特に原水で使用された場合は、乾くと白い粉(重曹)が残る場合があります。軽く水拭きをして仕上げて下さい。

## pH測定液での点検方法

50倍に希釈した電解洗浄水をpH測定液セットのカップに8分目ほど取り、pH測定液を1～2滴加え、よく振って下さい着色した液と比色紙と比べpH10(濃い紫)にならない場合、13ページをご参照ください。

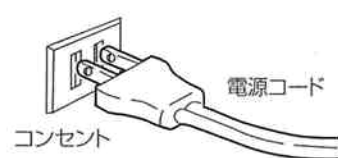
※pH測定液を入れた水は電解洗浄水として使用しないでください。



**! 警告** pH測定液は、飲んだり点眼しないでください。もし誤って飲んだ場合は飲料水を大量に飲むこと。また誤って点眼した場合は飲料水でよく洗い、医師に相談してください。

## 精製塩水の入れ方

- 1 電源プラグをコンセントに差し込みます。



電源コード

①



電源スイッチを押します。

緑色ランプが点灯  
オレンジ色ランプが点灯

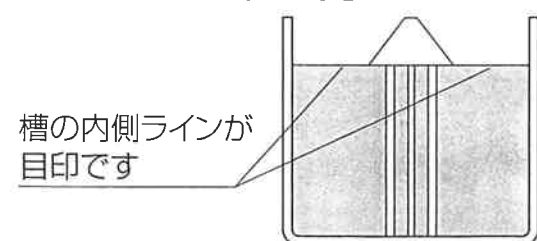
- 2 バルブレバーを「止」の位置にしてください。

※バルブレバーが「出」の位置での場合、吐水バルブ開放中のランプが点灯及び電子ブザーでお知らせします。



バルブレバー

- 3 本体のフタを開けて、準備した精製塩水を左右の槽の水位が同じになるようにいれます。



槽の内側ラインが目印です



**注意**

※電解中はフタを開けないでください。

※電解中は換気を充分行ってください。



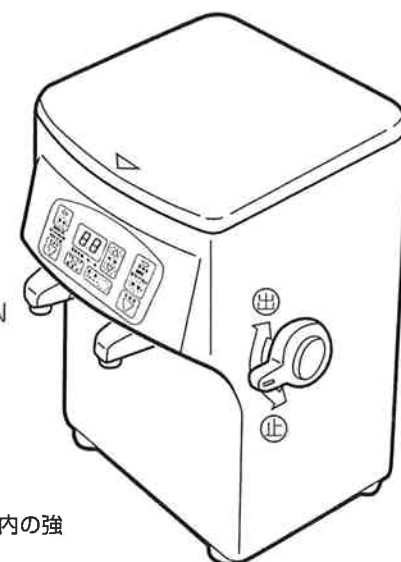
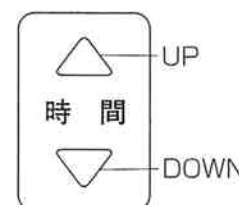
内側ライン

- 4 フタを閉めます。

## 強電解水の生成

- 1 洗浄水・強酸性・強アルカリ性水切替スイッチを押し洗浄水ランプ消灯後電解時間をセットします。

②③(約5分。メモリー可変式)  
(使用用途に応じてpH調整が可能です)

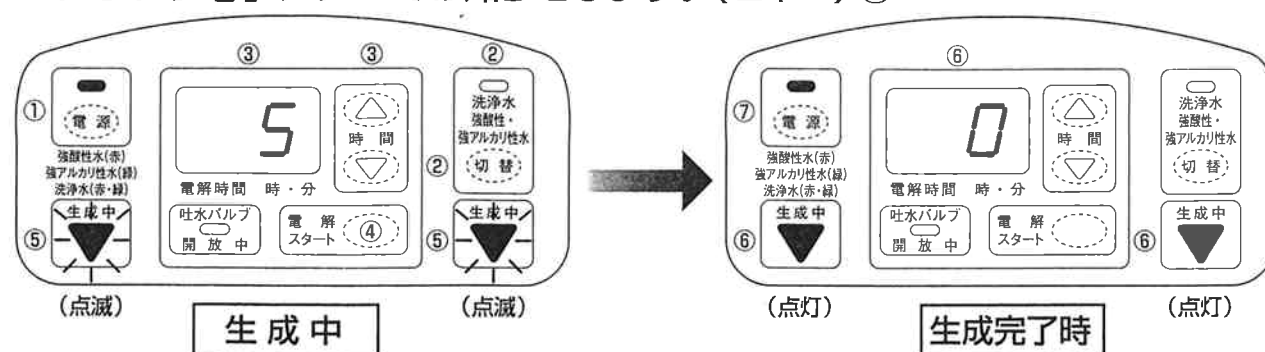


- 2 電解スタートスイッチを押すと生成が始まります。  
(電解中は生成中ランプが点滅します)④⑤

※電解中は電源プラグを抜かないでください。また停電等で電源が切れた場合はいったん槽内の強電解水を全て吐出し最初からやり直してください。

※電解中に誤ってバルブレバーを動かすと電解が強制終了してしまいます。その場合は全て吐出し、強電解水を作り直し最初からやり直してください。

- 3 生成が完了しますと電解時間表示が0になり生成中ランプが点滅から点灯にかわり電子ブザーでお知らせします。(ピー)⑥



## 強電解水の保存

- 1 吐水口の下に計量カップ(2ℓ、ピンク・グリーン)をランプの色に合わせて置き、バルブレバーを「出」の位置にし、吐出します。(電子ブザー音と共に吐水バルブ開放中ランプ点灯)(P11-⑥)

※終了の電子ブザーが鳴ったらすみやかに吐出してください。

※強電解水は本体内に残さず、1度で全て抜き取ってください。

※強酸性水/強アルカリ性水表示ランプが点灯している側の吐水口から生成された水が出てきます。吐水口ランプの色に合わせて計量カップ(2ℓ)を御使用ください。(赤ランプ:ピンクカップ、緑ランプ:グリーンカップ)

※電解する毎に生成中ランプ(緑、赤)が交互に替わります。

ご使用の際は注意してください。

※本体内に水を残した状態でコンセントを抜かないでください。正常動作が不可となります。

※水道水を使用する場合、水質によっては強アルカリ性水に白い沈殿物(カルシウム)が発生することがありますが、害はありません。



- 2 完全に強電解水の吐出が完了しましたら電子ブザーでお知らせします。(ピー・ピー・ピー...)バルブレバーを「止」の位置に戻してください。吐水バルブ開放中のランプが消灯します。

- 3 付属の強電解水保存容器にロートを使って移し替えてください。

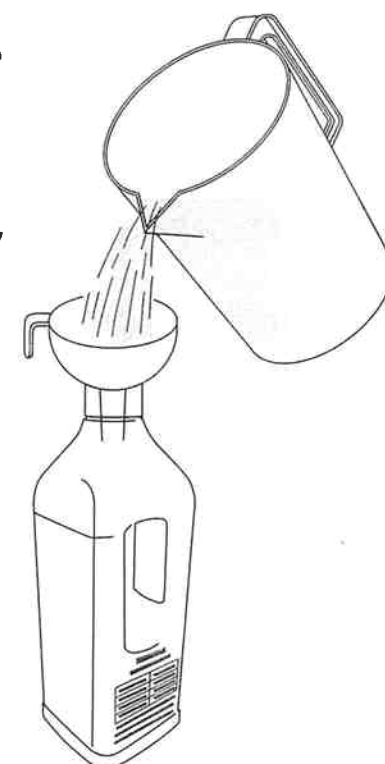
※飲み物の空容器には絶対に保存しないでください。

強電解水を誤って飲んでしまう恐れがあります。

※吐水口より残留水が出てきます。計量カップ(2ℓ)で受けてください。

※計量カップ(2ℓ、ピンク)の強電解水を強酸性水保存容器に、計量カップ(2ℓ、グリーン)の強電解水を強アルカリ性水保存容器に移し替えてください。

※強電解水を保存するときには、必ず容器を密閉し、お子様の手の届かないところに保存し、お早めにご使用ください。



4 吐出が完了しますと電源が自動的に切れます。しばらくご使用にならない時は電源プラグをコンセントから抜いてください。(P11-⑦)



お手入れのしかた

●日常のお手入れの手順

- 1. 本体の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 2. フタは取り外して、水洗いしてください。
- 3. 本体内は水道水で軽くすすぎ洗いをしてください。
- 4. 本体の外側は良く絞った布で拭き取るようにしてください。

●洗浄剤(クエン酸)を使ってお手入れの手順

- 1. 本体の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 2. 本体内(槽内)に水道水を槽内の内側ラインまで満たした後バルブレバーを「出」の位置にして排水してください。
- 3. 計量カップ(2ℓ)に付属の洗浄剤(クエン酸)1/2袋(約11g)を入れ、水道水を2ℓ加えて洗浄剤(クエン酸)が溶けるまで攪拌棒でよくかき混ぜてください。(2カップ用意)
- 4. 洗浄剤(クエン酸)をよく溶かし、その水を本体内の左右の槽に各1カップづつに入れ、12時間以上そのまま放置します。必ずバルブレバーは「止」の位置で行ってください。
- 5. 放置した後、槽内の洗浄剤溶解水を排水してください。洗浄剤溶解水が残らないように本体内へ水道水を満たし、排水を行ってください。

※長くご使用いただくために専用重曹3kg使用後、クエン酸による槽内洗浄を行ってください。

●電極板交換時期について

※電極板の交換時期は、正しい使用時において約3000時間(電解時間)を目安にしてください。  
注1) 正しくご使用をされた場合でも、使用環境・水質等によって、耐用年数が異なる場合がありますので、ご了承ください。  
なお、電極板の交換は有料となりますので併せてご了承ください。

故障かなと思ったら

| 症 状                                        | 原 因                                                           | 対 処                                                                                                                                  | ページ   |
|--------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 電源スイッチ緑ランプが点灯しない。                          | 電源プラグが抜けています。<br>本体内ヒューズ切れ。                                   | 電源プラグをコンセントに接続して下さい。<br>販売店に交換依頼して下さい。                                                                                               | 6・11  |
| 電源スイッチ、オレンジランプが点灯しない。                      | 電源スイッチが入っていない。                                                | 電源スイッチを押しオレンジランプ点灯を確認下さい。<br>緑からオレンジに切り替わらない場合は販売店に修理を依頼して下さい。                                                                       | 6・11  |
| 電解スタートスイッチを押しても生成中ランプが点滅しない。               | 電源プラグが抜けています。<br><br>電源スタートスイッチが入っていない。                       | 電源プラグをコンセントに接続して下さい。<br><br>再度、電解スタートスイッチを押して下さい。                                                                                    |       |
| 電源スイッチを入ると電子ブザーが鳴る。                        | バルブレバーが「止」の位置になっていない。                                         | 吐水バルブ開放中のランプが点灯していませんか? 「止」の位置にして下さい。<br><br>ランプが消灯しない場合は販売店に修理を依頼して下さい。                                                             | 6・11  |
| 洗浄水生成時、電解時間表示が4.0にならない。                    | 強酸性・強アルカリ性水設定になっていませんか?                                       | 切替スイッチを押すと洗浄水ランプが点灯し電解時間表示が4.0に替わります。                                                                                                | 6     |
| 強酸性・強アルカリ性水生成時電解時間表示が分設定にならない。             | 洗浄水設定になっていませんか?                                               | 切替スイッチを押すと洗浄水ランプが消灯し電解時間が分設定に替わります。                                                                                                  | 11・12 |
| 強酸性・強アルカリ性水生成開始時電解時間設定スイッチを押しても電解時間が替わらない。 | 電解時間設定スイッチが入っていない。                                            | 再度、電解時間設定スイッチを押して下さい。<br>電解時間が替わらない場合は販売店に修理を依頼して下さい。                                                                                | 11・12 |
| 生成中に電解時間表示がカウントダウンしない。                     | 生成中ランプは点滅していますか?                                              | 点滅していない場合は再度、電解スタートして下さい。<br>点滅しているがカウントダウンしない場合は販売店に修理を依頼して下さい。                                                                     | 6・11  |
| 生成完了後、電子ブザーが鳴らない。                          | バルブレバーは「止」の位置になっていますか?<br>生成中ランプが点滅から点灯にかわり電解時間表示は0になっていませんか? | 吐水バルブ開放中ランプの消灯を確認して下さい。<br><br>左記の状態にて鳴らない場合は電子ブザーの故障が考えられます。販売店に修理を依頼して下さい。                                                         | 6・12  |
| 吐出完了後、電子ブザーが鳴らない。                          | バルブレバーは「開」の位置になっていますか?                                        | 吐水バルブ開放中の点灯を確認して下さい。<br>左記の状態にて鳴らない場合はブザーの故障が考えられます。販売店に修理を依頼して下さい。                                                                  | 7・12  |
| 電解時間表示がEになっている。                            | 電解用電源が故障しています。                                                | 販売店に修理を依頼して下さい。                                                                                                                      | 6・11  |
| 50倍に希釈した洗浄水をpH測定液で測定してもpH10(濃い紫)にならない。     | 槽内にカルシウムが付着している。                                              | 付属の洗浄剤(クエン酸)を使って槽内の洗浄をおこなして下さい。<br>改善がみられない場合は販売店にご相談下さい。                                                                            | 9     |
| 強酸性水が出来ない。<br>塩素臭が少ない。                     | 槽内にカルシウムが付着している。<br><br>槽内に重曹成分が残っている。<br>精製塩の量が少ない。          | 付属の洗浄剤(クエン酸)を使って槽内の洗浄をおこなして下さい。<br>改善がみられない場合は販売店にご相談下さい。<br>槽内を水洗いし、再度生成して下さい。<br>付属の計量スプーンすりきり1杯を入れて下さい。<br>改善がみられない場合は販売店にご相談下さい。 | 13    |
| 強酸性水の塩素臭が強い。                               | 精製塩の量は多すぎませんか?                                                | 付属の計量スプーンすりきり1杯を入れて下さい。<br>改善がみられない場合は販売店にご相談下さい。                                                                                    | 10    |